

チャペル週報

No. 5

2013.5.6 ~ 5.10

あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。

(エフェソの信徒への手紙5:8-9)



西宮聖和キャンパス ダッドレーメモリアルチャペル

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 5月6日(月) 神 小 片 聡 (神学研究科M2)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
聖和 聖書物語「わらいの子」
-
- 5月7日(火) 院 柳 川 真太郎 (神学研究科M2)
神 榎 本 てる子 (神学部准教授)
文 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド
社 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V.
法 ボランティア活動の勧め(1) NPO法人かめのすけ
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 東日本被災地支援報告 杉浦 健 (ヒューマンサービスセンター・ボランティアコーディネーター)
国 讚美歌練習 聖歌隊
聖和 カルトについて考える (DVD)
総 前 川 裕 (理工学部宗教主事)
-
- 5月8日(水) 神 バロックアンサンブルによる音楽礼拝
社 建学の精神 -KG Spiritとは- ③ 土 井 健 司 (神学部長)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 ボランティア活動報告 上ヶ原ハビタット
聖和 嶺 重 淑 (人間福祉学部宗教主事)
理 「あなたがたは地の塩である」前 川 裕 (宗教主事)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 5月9日(木) 神 David Wider (神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 トルコ交流セミナー参加学生による報告
法 ボランティア活動の勧め(2) NPO法人かめのすけ
経 経済と人間① 松 本 有 一 (経済学部教授)
商 English Chapel Timothy Boyle (宣教師)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 「聖和幼稚園の保育・キリスト教保育との出会い」出原 大 (聖和幼稚園園長)
総 KG Blessed Choir
-
- 5月10日(金) 神 「震災を覚えて」礼拝① 神学部メガホンプロジェクト
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド
聖和 「叩けば響く、この世界」村 瀬 義 史 (総合政策学部宗教主事)
理 「真理はあなたがたを自由にする」前 川 裕 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
5月10日(金) 人間福祉学部のために 小 西 砂千夫 (人間福祉学部教授)

存在と愛

市 瀬 晶 子

私は3人きょうだいの「長女」である。妹とは7つ離れており、妹がまだ赤ちゃんのとき、布おむつを洗ったり、遊びに行くときにもおぶって子守をしたこともはっきり覚えている。私の「姉」意識は強く、今でもつい妹を子ども扱いして怒られることが多い。そのため、聖書のマルタとマリアの姉妹の話を聞いたり、読んだりするとき、私はいつもマルタの姿が自分のことのように思える。

ルカの福音書にはこのような話がある。「一行が歩いていくうち、イエスはある村にお入りになった。すると、マルタという女が、イエスを家に迎え入れた。彼女にはマリアという姉妹がいた。マリアは主の足もとに座って、その話に聞き入っていた。マルタは、いろいろのもてなしのためせわしく立ち働いていたが、そばに近寄って言った。主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。主はお答えになった。『マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。』(ルカによる福音書10章38節から42節)

ここに出てくる二人の姉妹の姿は対照的である。マルタはイエスとその一行をもてなすためにせわしく立ち働いている。一方、マリアはイエスが来られたというので、イエスの足もとに座って、イエスの言葉に聞き入っていた。そんなマリアにマルタは「なぜあんただけ座りこんでいるのか」とイライラしていたに違いない。二人の姉妹の姿は、存在“being”と行動“doing”という私たちの二つのありかたを象徴しているように思える。「存在そのもの」で居られる「私たちのありかた」と「せわしく立ち働き、何かを“する”ことで私のことを認めて欲しい」という私たちのありかたである。

社会にあっては、私たちは何かを“する”ことで自分の存在価値を証明するように迫られる。就職活動では「なぜあなたの会社に私が必要なのか、私には何ができるのか」自己PRができなければならない。しかし、「あれをしなければ、これをしなければ」と多くを思い悩み、心を乱しているマルタにイエスは「必要なことはただ一つだけ」であり、マリアは良い方を選んだと教えた。競争社会にあって私たちには「何かをしなければ、認められないのではないか、受け入れられないのではないか」という心配は尽きない。しかし、必要なことは一つだけであり、「存在そのもの」が愛されていることを見失わないで欲しいと思う。

(人間福祉学部助教)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

- 5月9日(木) 関西学院グリークラブ
- 5月16日(木) 関西学院大学混声合唱団エゴラド
- 5月30日(木) 関西学院バロックアンサンブル
- 6月3日(月) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部
- 6月4日(火) 関西学院交響楽団管楽アンサンブル
- 6月6日(木) 関西学院聖歌隊
- 6月10日(月) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル
- 6月13日(木) 関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice

いずれも12:50～13:20

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●第193回ランバス演奏会

リュート伴奏による「17世紀のフランスとイギリスの歌曲」
平井満美子／ソプラノ 佐野健二／アーチリュート
沈黙と神秘／ボワモルティエ こよなく美しい島／パーセル
リュートをかたわらに／ブロー ほか

と き：5月9日(木) 17:00 開演

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：宗教センター <入場無料>

●人権教育研究室研究部会公開研究会のご案内

「関学の中のセクシュアルマイノリティ：すべての人が自分らしく振る舞える学びの共同体を目指して」

と き：5月17日(金) 15:15～18:00

ところ：関西学院大学図書館 図書館ホール

司 会：武田 丈（人権教育研究室研究員・人間福祉学部教授）

内 容：1990年代以降、セクシュアルマイノリティの人権への注目が社会的にも高まり、関西学院大学も学内の人権講演会や研究会で取り上げてきました。今回のシンポジウムでは、セクシュアルマイノリティの関学の現役生および卒業生に登壇してもらい、関西学院において登壇者が体験したこと、思ったことを語っていただき、それをベースに関西学院が誰にとっても自分らしく振る舞えるラーニングコミュニティ（学びの共同体）になるための方策を議論していきます。

<あわせて、セクシュアルマイノリティのカップルの普段の生活を紹介するため、図書館エントランスホールにて5月13日(月)から17日(金)まで写真展を開催します。また、多様な性についての基礎知識に加え、当事者や家族の声を盛り込んだ「いのちリスペクト：ホワトリボン・キャンペーン」(<http://ameblo.jp/respectwhiteribbon/entry-11440462193.html>)のパネル展も同時開催します>

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。(18:00～18:20 1405教室)

- 5月10日(金) Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）
- 5月17日(金) 田淵 結（教育学部宗教主事、宗教総主事）
- 5月24日(金) 舟木 譲（経済学部宗教主事、大学宗教主事）
- 5月31日(金) Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。